授業科目名： 柔道	教員の免許状取得のための必修科目	単位数： １単位	担当教員名：吉鷹　幸春 久保　潤二郎・松本　秀彦・石川 美久 担当形態：オムニバス

実務内容 （実務家教員の場合）	
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校保健体育）
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 体育実技

「学位授与の方針」との関係
ＡからＦの項目すべてに該当する。

授業の到達目標及びテーマ
　本授業では、まず健康を考えながら、体力の向上を目指し、日本の伝統文化ともいえる武道を実施しその経験と知識を身に付けることである。　また、中学校武道必修化にともない、中学高校保健体育教員免許取得を目指す者にも、指導者として必要な知識や技能を身に付けることを併せて目的とする。　内容としては、前まわり受身と、基本的な投技である足技・手技・腰技、各３種類（合計９～12種類）及び、固技５種類をマスターすることを目標とする。

授業の概要
　前回り受身と、基本的な投技である足技・手技・腰技、各３種類（合計９～12種類）及び、固技５種類をマスターすることを目標とする。また、柔道のスポーツと武道の文化的側面を持つ柔道の意義を理解するために実技だけでなく筆記試験も行う。

授業計画
第１回：１．ガイダンス　２．柔道の歴史について　３．柔道の作法、マナーなどについて
　　４．受身（前・後ろ・横）を修得する。強く投げられても頭を打たないようにする
第２回：１．前まわり受身を修得する　２．投技の膝車の基本技能を修得　３．抑技（袈裟固、上四方固）の基本を修得
第３回：１．大外刈の修得　２．体落の基本を修得　３．抑技（横四方固、縦四方固）の基本を修得
第４回：１．大腰の基本を修得　２．寝技を中心とした乱取練習
第５回：１．足払（送足払・出足払）　２．背負投（一本背負投）の基本を修得　３．立技の乱取り練習
第６回：１．大腰の基本を修得　２．浮腰の基本を修得　３．立技、寝技の乱取り練習
第７回：１．払腰の基本を修得　２．立技、寝技の乱取り練習
第８回：柔道の歴史についてビデオ学習
第９回：投の形の練習
第１０回：投の形の練習
第１１回：立技及び、寝技の乱取り練習
第１２回：１．立技及び、寝技の乱取り練習　２．試合練習
第１３回：１．立技及び、寝技の乱取り練習　２．試合練習

第１４回：筆記試験（柔道の歴史、礼法・作法、ルール、他） 第１５回：まとめ 定期試験：実技テスト（受身、投技９種類）
スクーリングでの学修内容 １回～１５回の内容を含む
教科書 星槎大学で独自に作成したテキスト（冊子）をスクーリング時に配付
参考文献 Web 上の柔道動画（多数）を準備学習として視聴を薦める。
学生に対する評価 スクーリング評価（２０％)、実技テスト（８０％）の割合で総合して評価する。